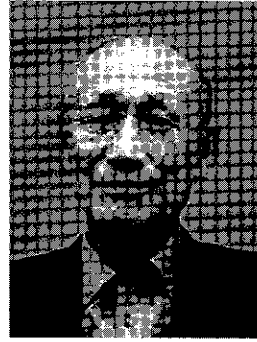


■新年のご挨拶■

栗田公民館

館長 寺島 正旭



明けましておめでとございます。

栗田町内の皆様には、公民館活動にご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

今年も、笑顔いっぱい、心に明かりがともるような温かい公民館活動になりますように！

コロナ禍ではありましたが、今年5月22日には小学生から高齢の方々までご参加いただき、マレットゴルフ大会を二年ぶりに実施することができました。

6月19日には女性部講習会による「猫背改善体操」、7月23日には日吉大神社境内で育成会との共催による

納涼夏祭りを行い、レイアロハの皆さんによるフラダンスや子供花火大会、打ち上げ花火やナイアガラの滝などの花火を楽しみました。

9月22・23日には秋祭り文化展をふれあい会館などで開催しました。また、三年ぶりの開催となった芹田地区スポーツ大会卓球大会は、栗田は残念ながら初戦で敗れましたが、無事実施出来ました。11月20日にはサークル発表会を実施、12月4日には親子で参加する注連縄作り講習会を開きました。

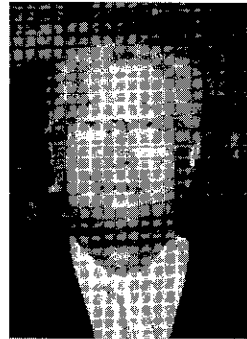
令和4年度は残すところ3カ月ですが、これまでコロナ禍の中での公民館事業にあたり、マスク着用や手指の消毒等、皆様のご協力をいただきました。本当にありがとうございました。ただ、心残りなのは町内大会運動会や芹田地区のスポーツ大会を中止せざるを得なかったことです。最後になりましたが、各

■新年のご挨拶■

栗田町内会副会長

栗田福祉推進委員会会長

石川 幸夫



あけましておめでとございます。皆様ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、昨年の福祉活動は、①地域住民同士の交流の場づくり②住民の健康づくり③乳幼児の居場所の提供を三本の柱として取り組んでまいりました。

しかしながら昨年も新型コロナウイルス蔓延により、

二回の「楽しく、触れ合う会」は中止せざるを得ませんでした。屋外行事の「焼き芋大会」については関係者のご協力で無事、実施することができました。

第二の柱である「はつらつ体操」は、感染対策を取りつつ毎週実施し、各会の平均参加者は23人と、昨年を1割以上上回りました。

健康と介護状態の間をさす「フレイル」を防ぐための講座（3回シリーズ）はじめ各種講座の併催や、外部から体操講師を招く回を設けるなど月ごとに変化を持たせ、体力づくりと知識を身に着けるための工夫をしてまいりました。今後、も健康づくりの場として定着するよう、努力してまいります。「はつらつ体操」への皆様のご参加をお待ちしております。

「子育てルーム」も毎月第一木曜日に開催してまいりました。コロナ禍で親子10組の参加にとどまりまし

たが、今後より多くのご参加をお待ちしています。

ふれあい会館の運営では、昨年4月から栗田町民のサークル等の会館利用料が無料となりました。これに伴いサークル利用や町内の会議が活発となったほか、新たなサークル創設の動きも出るなど、利用者の増加につながりました。会館行事としては、春と秋の一斉清掃を実施しました。ご協力いただいた役員、関係者の方々にお礼申し上げます。昨年10月には町内会の防災訓練への参加と避難訓練を実施しました。災害はいつ発生するか予測不能な上、年々被害の拡大傾向がみられます。家庭や地域の備えが大切です。残り三カ月となりましたが、栗田町内の皆様の憩いの場として「ふれあい会館」をご利用いただけるよう、より良い会館づくりをしてまいります。